

[執筆者略歴]

小島道一 こじま みちかず（第1章、第4章、第6章、第7章、第9章）

1990年慶應義塾大学経済学部卒。1997年カリフォルニア大学バークレー校農業・資源経済学科修士。1990年アジア経済研究所入所。統計調査部、開発研究部等を経て、現在、新領域研究センター環境・資源研究グループ研究員。2003年5月から2004年3月、朝日新聞アジアネットワーク客員研究員。2004年6月から産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会国際資源循環ワーキング・グループ委員。

著書・論文：「中小企業およびインフォーマル・セクターの公害対策——鉛リサイクルにおける日本の経験とアジアの模索」（寺尾忠能・大塚健司編『「開発と環境」の政策過程とダイナミズム』アジア経済研究所、2002年）、『アジア環境白書2003/04』〔共編著〕（東洋経済新報社、2003年）、「アジアにおける3Rの取組みと現状」（『環境研究』No.136、pp.99-104、2005年3月）など。

寺園 淳 てらぞの あつし（第2章）

1989年京都大学工学部卒。1995年京都大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学、同年京都大学環境保全センター助手。1996年国立環境研究所入所。社会環境システム部研究員、ドイツ・カールスルーエ大学独仏環境研究所客員研究員（日本学術振興会 海外特別研究員）等を経て、現在、独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム研究領域（循環型社会形成推進・廃棄物研究センターを併任）主任研究員。2000年京都大学博士（工学）。

著書・論文：“Material Cycles in Asia—especially recycling loop between Japan and China”〔吉田綾ほかと共著〕（*Journal of Material Cycles and Waste Management*, Vol.6, No.2, pp.82-96, 2004）、「アジアにおける資源循環——循環資源の輸出由来、廃プラスチック、E-waste」（『環境研究』No.136、pp.85-92、2005年3月）、「Waste Management and Recycling in Asia”〔森口祐一ほかと共著〕（*International Review for Environmental Strategies*, Vol.5, No.2, pp.477-498, 2005）など。

吉田 綾 よしだ あや（第3章、第4章、第7章）

2001年京都大学経済学部卒。2003年東京大学国際協力学修士。現在、東京大学大学院工学系研究科博士課程に在籍。

著書・論文：“Secondary materials transfer from Japan to China: destination analysis in China”〔共著論文〕（*Journal of Material Cycles and Waste Management*, Vol.7, No.1, pp.8-15, 2005）、「中国——世界のリサイクル拠点」（『アジア研ワールド・トレンド』2004年11月号、No.110、pp.6-9）、「廃棄物・リサイクル——産業化と市場化、その拡大と展望」〔小島道一と共著〕（『中国環境ハンドブック』蒼蒼社、pp.99-107、2004年）など。

寺尾忠能 てらお ただよし (第5章)

1989年東京大学大学院農学系研究科（農業経済学専攻）を経てアジア経済研究所入所。東アジア、南アジアおよび日本の産業公害対策、環境政策、社会運動、農業政策などを対象に研究。

著書・論文：「日本の産業政策と産業公害」（小島麗逸・藤崎成昭編『開発と環境——アジア「新成長圏」の課題』アジア経済研究所、1994年）、「An Institutional Analysis of Environmental Pollution Disputes in Taiwan, Cases of ‘Self-Relief,’」*The Developing Economies*, Vol.XL, No.3, 2002, 『「開発と環境」の政策過程とダイナミズム』〔共編著〕（アジア経済研究所、2002年）、『アジアにおける環境政策と社会変動』〔共編著〕（アジア経済研究所、2005年）など。

山下英俊 やました ひでとし (第8章)

1996年東京大学教養学部卒。2000年東京大学大学院総合文化研究科博士課程中退。博士（学術）。2000年東京大学大学院新領域創成科学研究科助手。2004年一橋大学大学院経済学研究科専任講師。

著書・論文：“Circulation indices: new tools for analyzing the structure of material cascades” [written jointly with Kishino, H., Hanyu, K., Hayashi, C. and Abe, K.] (*Resources, Conservation and Recycling*, Vol. 28, pp. 85-104, 2000)、「廃棄物政策——発生抑制インセンティブの効果的利用に向けて」〔小出秀雄と共著〕（寺西俊一編『新しい環境経済政策——サステイナブル・エコノミーへの道』東洋経済新報社、2003年）、「なぜ三重県では産廃最終処分量が激減したのか？」〔除本理史と共著〕（『環境と公害』第33巻4号、48-55頁、2004年）など。

表紙の写真：

中国国内のみならず、世界中から電子廃棄物が集まってきている広東省貴嶼鎮。電子廃棄物を満載したトラックと、道路上で電子廃棄物を解体・分別している人。2004年11月、小島道一撮影。

裏表紙の写真：

〔左上〕 本文43ページ参照。

〔右上〕 銅スクラップの商社で、種類ごとに銅を分類する労働者。中国・広東省にて、2002年11月、小島道一撮影。

〔左下〕 日本からの輸入された大型スピーカーを解体する労働者。中国・浙江省にて、2002年11月、小島道一撮影。

〔右下〕 本文1ページ参照。

アジアにおける循環資源貿易

2005年3月31日発行©

定価 [本体1900円+税]

編者 小島道一

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

[http:// www.ide.go.jp](http://www.ide.go.jp)

印刷所 風行社

表紙デザイン 狭山トオル

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

無断転載を禁ず
ISBN4-258-27003-2